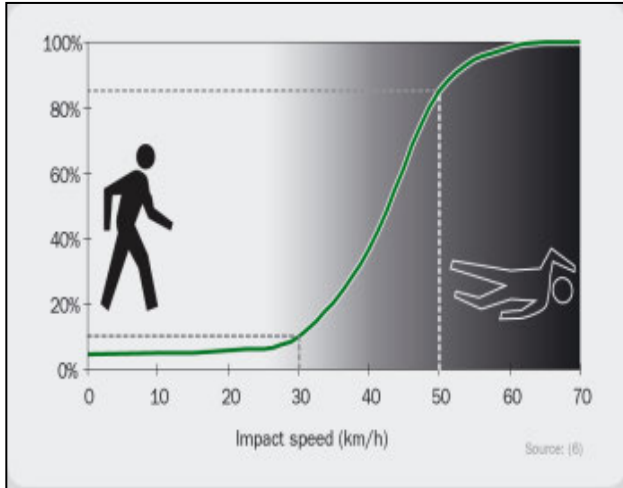


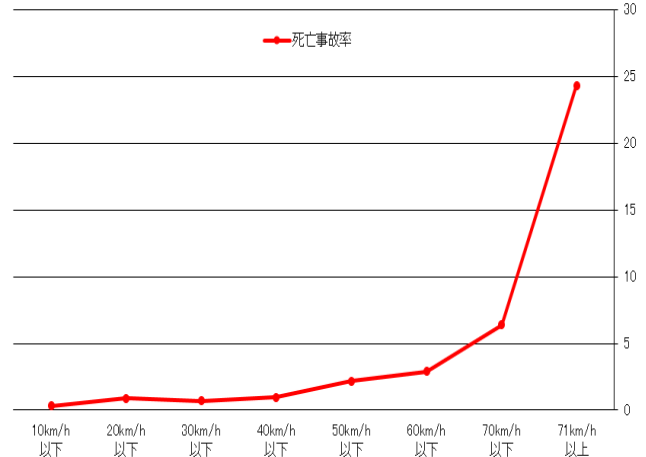
徳島県における総合的な速度管理の必要性

自動車の走行速度と歩行者事故の関係



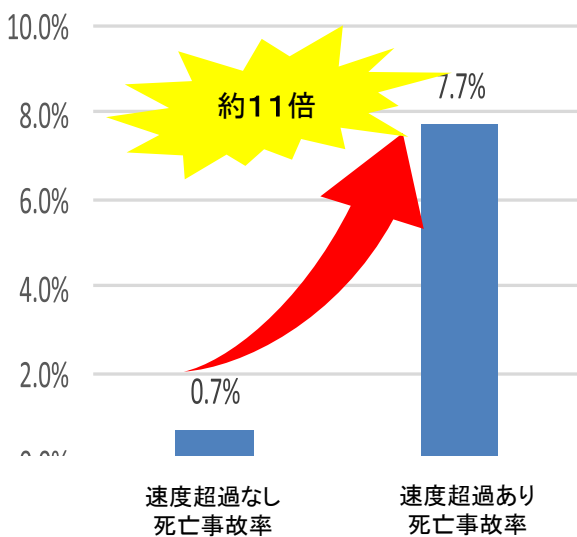
◆衝突時の速度が30km/hを超えると歩行者の致死率が上昇する。

自動車の走行速度と致死率の関係

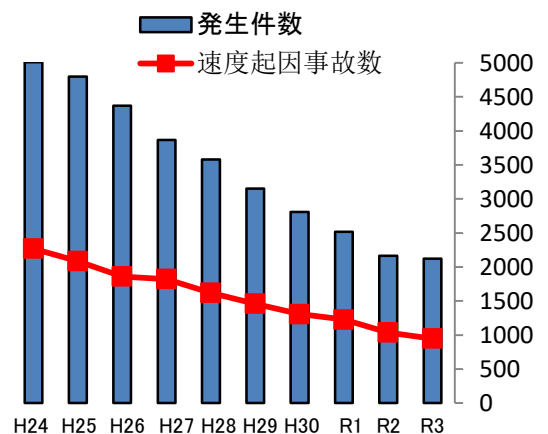


◇原付以上運転者が第一当事者となる交通事故では、危険認知速度が上がるにつれ死亡事故率が高くなる。

規制抑制による被害の軽減



速度管理と交通事故の関係



◇県内の交通事故及び速度超過に起因する交通事故は減少傾向を維持。

交通事故防止に資する速度規制

生活道路

◇ゾーン30(ゾーン30プラス)を始めとして、効果的な規制を推進。



一般道路

◇交通事故防止と交通の円滑化の両面から、適宜適切な速度規制を推進。



高速道路

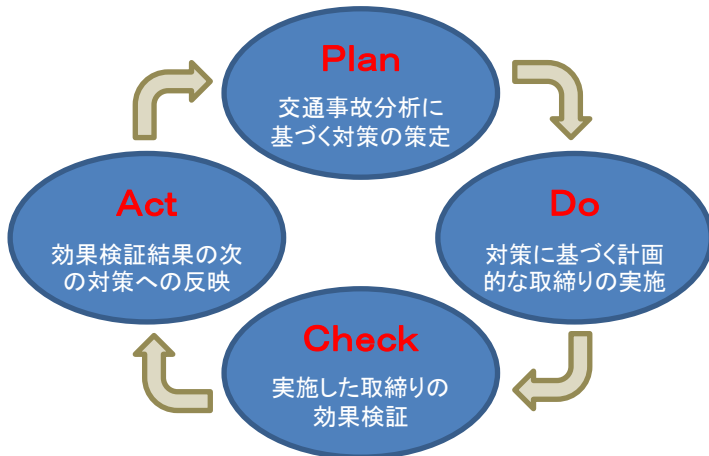
◇道路管理者と緊密に連携して、片側2車線道路の延伸等、状況に応じた速度規制を推進。



交通事故防止に資する速度取締り

交通事故の分析

◇PDCAサイクルによる取締り



機敏な取締り

◇可搬式オービス等を活用した取締り、重大事故発生直後の機敏な取締りを実施。



情報発信



◇取締りの必要性や効果等について情報発信を行い、県民の理解を得るとともに、交通安全意識の向上を図る。
◇取締りの事前告知をして、県民の自制による速度抑止を図る。

その他

街頭活動の推進

◇制服警察官、白バイやパトカーによる交差点等での駐留監視、流動的なパトロール等の街頭活動を推進。



交通安全教育の推進

◇運転手はもとより、歩行者や自転車利用者、子供や高齢者への交通安全教育を推進。

